

# 守山市立図書館整備基本計画書

～本と人が出会い、人と人がつながる知の広場をめざして～



平成 27 年 3 月

守山市教育委員会

## はじめに

守山市は、人口 80,852 人（平成 27 年 2 月末）面積 55.74km<sup>2</sup>の規模を有し、まちなかの水辺にホテルが飛び交う自然豊かな田園都市です。教育機関・医療機関が充実し、京阪神への通勤圏でもあることから、毎年人口が増加し、住みよさのランキングでは近畿圏の上位に入っております。

守山市立図書館は、昭和 53 年に、滋賀県内の公立図書館として戦後最初に建てられ、平成元年に増改築し、現在の規模になりました。開館以来、多くの市民に利用していただき、豊かな暮らしに役立つ図書館づくりを進めてまいりました。開館時より、子ども読書活動に力を入れて運営し、平成 20 年度には「子ども読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受けました。

図書館はあらゆる「市民の知る権利」を保障し、学びを支えるために、最適な資料を提供することで人々の暮らしを支援する大切な生涯学習の施設であり文化施設でもあります。守山の図書館もその役割を果たしてきましたが、人口の増加と共に市民のニーズも多種多様となり、近隣市に大規模かつ機能的な図書館が建てられるなか、開架・閉架スペースが不足し、くつろいで本を読める空間が少なく、施設の老朽化という課題もでてまいりました。

その課題解決のために、これからの「図書館のあり方」の検討をかさね、平成 25 年には基本計画を策定するために外部委員を交えた「守山市立図書館整備基本計画検討委員会」を設置し整備の方向性を検討し、『守山市立図書館整備基本計画報告書』をまとめていただきました。

その報告書をもとに、この『守山市立図書館整備基本計画書』を策定いたしました。

この計画を基本に、守山市が目指す将来に渡って市民の生涯学習を支え、文化の拠点となる図書館、「本と人が出会い、人と人がつながる知の広場」をめざして整備を進め、市民の皆様の学習の場、憩いの場となるように努めてまいります。

平成 27 年 3 月

守山市教育委員会  
教育長 上路 博

## 目 次

### 第1章 計画策定の趣旨

1. 図書館の定義・基本的な役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 図書館を取り巻く状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
  - 2-1 生涯学習と住民協働
  - 2-2 役割の多様化と子どもの読書
  - 2-3 文字・活字文化振興法
3. 市の施策における位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
4. 図書館整備基本計画の策定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

### 第2章 守山市立図書館の現状と課題

1. 運営面・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - 1-1 現状
  - 1-2 課題
2. 施設面・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - 2-1 施設整備の沿革
  - 2-2 部門構成
  - 2-3 その他諸元
  - 2-4 課題
3. 平成22年度 図書館利用アンケート結果・・・・・・・・・・ 12

### 第3章 課題解決の方向性

1. ハード(主に施設)の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
2. ソフト(資料・運営面)の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
  - 2-1 資料および資料費の充実
  - 2-2 図書館運営の充実
3. 施設整備に向けてのコンセプト・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
  - 3-1 先進事例から導かれる空間イメージ
  - 3-2 基本設計に向けた施設整備のコンセプト
4. 整備の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
  - 4-1 整備場所について
  - 4-2 整備方法について
  - 4-3 概算事業費
  - 4-4 今後のスケジュール

### 第4章 今後の図書館整備内容について

1. 整備内容の基本コンセプト・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
2. コンセプトを実現するための3つの柱・・・・・・・・・・ 26
  - 2-1 本と出会い、心豊かに過ごせる図書館

2-2	多くの人が集い地域の活力となる図書館	
2-3	人と人がつながる図書館	
3.	コンセプトを実現するための管理運営	30
4.	具体的な整備内容について	32
4-1	現行・充実後面積比較	
4-2	ゾーン別の整備内容について	
5.	北部地域および駅周辺への図書館機能整備について	36
5-1	北部地域整備	
5-2	駅周辺整備	